



# 中西だいですけ

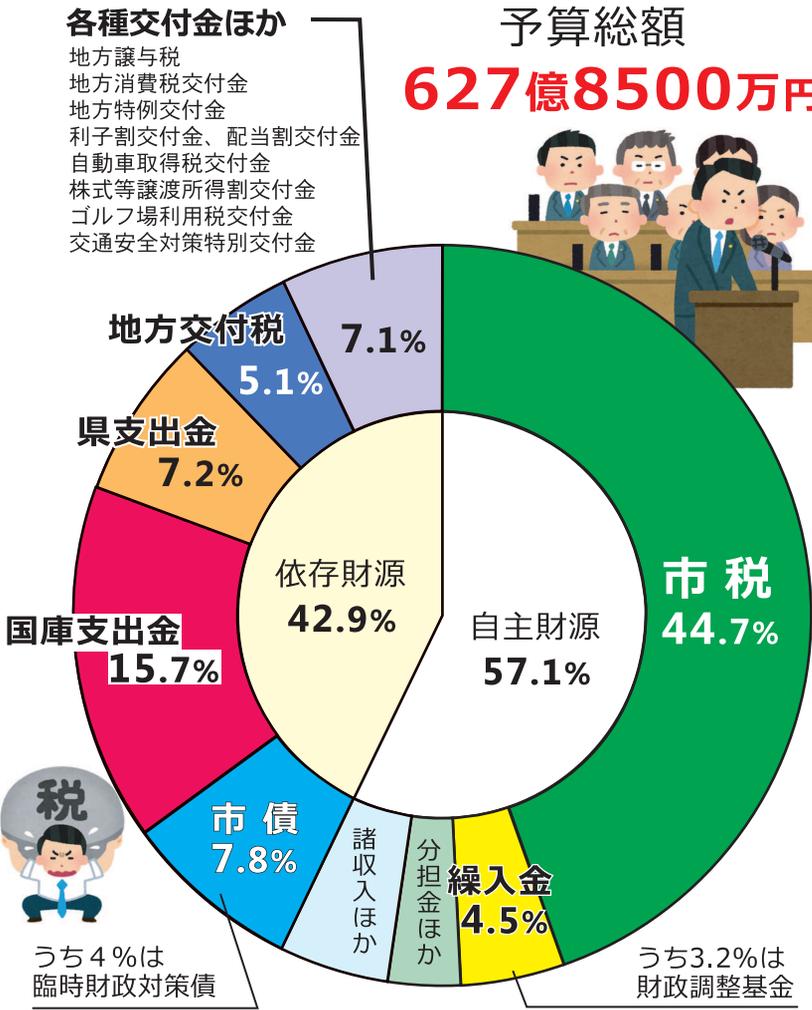


発行者：中西大輔 鈴鹿市南若松町296-2 TEL&FAX：368-1110

http://www.daisuke-nakanishi.net/ Eメール daisuke.nakanishi@gmail.com

## 2017年度 歳入予算構成比《自主財源と依存財源》

予算総額 **627億8500万円**



**歳入に注目する...**

ここからみなさんにも考えていただきたいのですが、ここ4年ほどの間で、中学校給食の導入や、子ども医療費の助成対象の拡大、小中学校への空調機器導入などが行われ、同時に社会保障関連予算も増大し、年間約

3月議会に提案された全議案に賛成しました。ただし、財政状況についてや、さまざまな取り組みについて、課題を感じている部分は多々あるのですが、それらの部分に反対するのではなく、今年の取り組みの中で、行政に改善を働きかけていきたいと考えました。

ですので討論では、市の各部に対して、自分の論点となる課題を指摘しました。

## 3月定例会より 全議案に賛成 議会の役割を考える

8億円以上が実施のために必要となり、歳出の構造が変化、財源が課題になっています。

では、行政を叩けば埋蔵金のようには財源が出るのかというところであります。行政の扱っているお金は税金が原資、つまり国や県の補助なども、みなさんのお金だということを、考える必要があります。

右の図から、今年1年の予算に対して、4割強の財源は他から調達される依存財源です。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、国は赤字国債の発行で財政を賄っている、県も今年度予算で政策的経費を55%削減と、これからも厳しくなることが予想されます。実際、地方交付税は抑制方向ですし、全額交付できない分は、臨時財政対策債として地方が借りて良いという制度でのやりくりです。

また、消費額が落ちると、地方消費税交付金も減ると、不安定な要素も多い状況です。

また、いまある政策課題は他の課題とつながっています。例えば学校のあり方を考えると、財政、教育、福祉、地域、防災といったことが関連します。公共施設マネジメントや地域包括ケアは、カギになる言葉の例といえます。こうなると一部分の解決だけ考えては、他で不都合がでる可能性があります。鈴鹿市を将来世代につなげていくためにも、現在の世代は、大きな責任があると思います。

行政、議会ともに、財源や将来予想も含め、市民のみなさんにきちんと情報を伝え、その上で合意形成に努める責務があると考えています。

## 鈴鹿市が自前で調達する自主財源で繰入金に着目すると、裏面に記載してありますが、平成25年度以降、残額を減らしていても、行き詰る可能性がないとは言えず、注意すべきです。

## 複雑だから合意が大切

鈴鹿市が自前で調達する自主財源で繰入金に着目すると、裏面に記載してありますが、平成25年度以降、残額を減らしていても、行き詰る可能性がないとは言えず、注意すべきです。

## 鈴亀広域連合議会 全議案に賛成 鈴鹿と亀山の関係は

3月は定例会終了後、介護保険に関わる鈴鹿亀山広域連合議会があり、補正予算と新年度予算などの議案を審議しました。

今年度は、第7期の介護保険事業計画策定などの動きもあり、鈴鹿市の地域福祉計画改定ともあわせ、高齢者の地域福祉に重要な1年です。また、介護保険料を納める世代にとっては、その負担をどれだけ抑えることができるか問われています。

広域連合議会では、自己完結できる福祉政策のため、亀山市との関係をどのようにしていくかが、主に鈴鹿市の議員側で課題になっています。これからの課題として、関心を持っていただきたいと思っています。

## 議会外の活動報告 議員活動を深めるため 様々に連携しています

**公共施設の課題のため**

2月に名古屋大学で行われた公共施設マネジメント研究会に参加、今の取り組みを学びました。分析の考え方やワークショップによる住民参画、パネルディスカッションでの議論など、鈴鹿市が取り組む際に、考えるべき論点が見えました。

**伝えることは学ぶこと**

3月はインターン学生を受け入れ、予算書から課題を考え、実際に担当課で質疑を行ってもらいました。進路に公務員を考える学生もいて、微力ながら力になれたかと思うのですが、予算資料に目を通すことや、議会の仕組みや役割などをどう伝えるか、自分の課題として気付き

**学生の活動を支援**

4月は地域医療を応援する会の活動で、医療科学大学の「鈴鹿きゆうめいサークル」の学生と連携してイベントに協力。学生のがんばりもあって、消防本部をはじめとして、その場に

**地域を越え学びを共有**

敦賀で行われた報告会についての勉強会に参加し、同じように活動する他市町議員の取り組みを聞き、自分自身の取り組みを振り返りました。いまに満足することなく、これからがんばってまいります。

### だいですけを囲む会

鈴鹿のこと、政治のこと、身近なこと、いろいろお話を聞かせて頂き、みなさんと一緒に考えたいと思います。

6月4日(日) 10:00～ 原永第二集会所にて  
6月4日(日) 13:00～ 若松公民館にて

※地域外の方もどうぞお越しください。

世界情勢がかなりきな臭いですね。やはり、社会も自然も大きく動く時代に入っていると思います。こういうときは、今までの暮らしを守ることももちろん、同時に、いろいろな状況を想定して、どのように再生するかを考えておく必要があると思います。

話は変わりますが、今年で10年め、節目の年と思っています。自分や周囲の加齢を目の当たりにしながら、子どもたちの成長も目にしてきているわけで、変化に敏感に行動したいと思っています。

それにしても字の多い紙面です。とはいっても、実際はこの何倍もあるのです。

